



平成30年10月12日

各位

会社名 古野電気株式会社
 代表者 代表取締役社長 古野幸男
 コード番号 6814 (東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画部長 山宮英紀
 (TEL 0798-63-1017)

業績予想の修正ならびに剰余金の配当(記念配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年7月12日に公表しました平成31年2月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

また、平成30年10月12日開催の取締役会において、下記のとおり平成30年8月31日を基準とする剰余金の配当を実施することを決議するとともに、平成31年2月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成31年2月期通期(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,000	4,000	4,000	3,000	95.20
今回発表予想(B)	82,000	5,000	5,000	4,000	126.94
増減額(B-A)	0	1,000	1,000	1,000	—
増減率(%)	0.0	25.0	25.0	33.3	—
(ご参考)前期実績 (平成30年2月期通期)	79,050	1,992	1,857	1,236	39.25

(2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、生産性の向上等による利益率の改善が計画を上回って推移したことや、為替レートが米ドル、ユーロともに想定より円安水準で推移したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、いずれも当初予想を上回る結果となりました。今後の事業環境は、船用事業、産業用事業ともに引き続き想定範囲内で推移することが見込まれますが、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正しております。

なお、業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートにつきましては、当初の想定レート(米ドル105円、ユーロ130円)からの変更はありません。

2. 剰余金の配当および期末配当予想について

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成30年7月12日公表)	前期実績 (平成30年2月期 第2四半期末)
基準日	平成30年8月31日	同左	平成29年8月31日
1株当たり配当金	10円00銭 (普通配当 5円00銭) (記念配当 5円00銭)	5円00銭	4円00銭
配当総額	315百万円	—	126百万円
効力発生日	平成30年11月5日	—	平成29年11月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	5円00銭	5円00銭	10円00銭
今回修正予想		7円00銭	17円00銭
当期実績	10円00銭 (普通配当 5円00銭) (記念配当 5円00銭)		
前期実績 (平成30年2月期)	4円00銭	6円00銭	10円00銭

(3) 修正の理由

当社は、配当政策を経営における最重要課題のひとつと位置づけております。利益配分につきましては継続的かつ安定的な配当を念頭に置きながら、財政状態、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。

当期の中間配当につきましては、平成30年12月に創立70周年を迎えること及び第2四半期までの業績が順調に推移していることを勘案し、株主の皆様への感謝の意を表すために、1株当たり普通配当5円に、記念配当5円を加え、中間配当を10円とすることといたしました。また、当期の期末配当は、連結業績予想の修正を考慮し、当初予想より2円増配し7円とさせていただく予定です。これにより、年間では当初予想より7円増配の、1株当たり17円となる予定です。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上